ロータリーを実践し　みんなに豊かな人生を

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

Governor's Monthly Letter

2013-2014 Vol.11

http://www.rid2550.com/

国際ロータリー第2550地区　ガバナー月信　5月号 May

青々と水を湛える日本名水百選に選ばれた出流原弁天池湧水

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
会員純増に向けて …… 2
未来の夢はロータリアンの夢 …… 2
IM 開催の報告 …… 3
インターアクト・クラブ海外研修 …… 4
アジア学院と米山記念奨学生 …… 5
中学生に対するロータリー賞の贈呈 …… 6
新入会員紹介・物故会員 …… 6
3 月会員増強・出席報告 …… 7
ロータリーの実践 …… 8

Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として
奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

News

ロータリーレート／1$＝102円

主要行事

5/11 日 栃木西ロータリークラブ創立50周年記念式典

5/24 土 栃木ロータリークラブ創立60周年記念式典

5/25 日 真岡西ロータリークラブ創立30周年記念式典

6/1 日 ～4 水 RIシドニー国際大会

6/21 土 2014～15第1回地区米山記念奨学会委員会

表紙の写真は、第 2550 地区第 9 グループのシンボル出流原弁天池。

ガバナーメッセージ

アジアの懸け橋をめざして

―― 米山梅吉氏の"気づき"から学ぶもの ――

2013-14年度　国際ロータリー第2550地区ガバナー　飯村 慎一（Iimura Shinichi）

ロータリーには奉仕の重要性を認識し、特に力を入れるために、特別月間を定めています。しかし5月だけはありませんので、10月の2つのテーマ（職業奉仕、米山）のうち取り上げなかった"米山"を今月は取り上げます。

米山記念奨学会は、日本最初のロータリークラブを創設した米山梅吉氏の功績を記念して、1952年に設立した奨学金制度で、その目的は、"将来母国と日本との懸け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を支援すること"です。特色は、奨学金による経済的な支援だけでなく、独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援を行うことです。米山奨学生の採用数は年間約700人、また累計では17,545人（2013年度末）で、日本国内では、民間最大の奨学財団で、日本のロータリーが世界に誇る国際貢献の一つです。第2550地区では、2013-14年度は23名の奨学生が学んでいます。

米山梅吉氏は、幼少のとき父と死別し、母の手一つで育てられ、16歳の時に静岡から上京し、働きながら勉学に励んだ優秀な学生でした。20歳でさらなる向上心に燃え、米国に渡り異国の地での勉学に挑戦しました。当然、経済的に恵まれない苦学生でしたが、アメリカ人の寛容の精神で、バイト先や安い寮などを紹介されながら、留学生活を送りました。この間、教会にも接し、アングロサクソンの博愛精神に触れ、その素晴らしさに"気づいた"ことと推察されます。後の米山梅吉氏の座右の銘というべき言葉の『何事も人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ（聖書）』は、この時に感化されたことでしょう。そして、本人は苦学生として、"人々からしてほしいと望むこと"を米国で体験しましたので、帰国後、アジアから日本に来る留学生を人知れずに支援したのでした。まさに陰徳の美徳です。また、米国留学中にロータリーの奉仕の精神の種が若い米山梅吉氏の心に蒔かれ、後年大きな志として開花し、太平洋の懸け橋となって日本で最初のロータリーが誕生するまでに至りました。異国の地での体験からくる博愛精神への"気づき"は、その後の米山梅吉氏の人生に大きな影響を与えたのでした。

"われ太平洋の懸け橋たらん"と明言を残したのは、**新渡戸稲造**でした。彼は、海外である学者から、「貴国には宗教教育のありやなしや」と問われ、「ない」と答えると、「ならばいかにして道徳教育を成すや」との再度の問いに、彼は窮して答えのないことに気づき、後に"武士道"を執筆しました。米国のルーズベルト大統領は、この"武士道"を読み大変感銘し、日露戦争の講和の仲介を引き受け、日本の命運を救ったのでした。これも新渡戸稲造の海外での"気づき"があったからでした。

米山奨学生は、自国での日本の印象と来日してからの印象は違うという人が多いようです。彼らには、日本の文化、習慣などを体験し、また、いろいろな"気づき"を経験していただき、国際理解を図り、親善を深めながら、自国との懸け橋となり、そして、ゆくゆくは平和の創造に貢献するような国際人になることを期待しております。今日、アジアの近隣諸国との関係は、政情不安定ですが、そのような時こそ米山奨学生の役割は重要で、私たちロータリアンも、彼らを全面的に支援し、アジアの安定と平和を目指して、ロータリーを実践してまいりたいと思いますので、よろしくお願い申しあげます。

会員純増に向けて

第2550地区会員組織委員会委員長　川又　茂三

会員増強、会員維持は必要、そのことは会員誰でもが分かっています。しかしそのために行動する会員は多くありません。お互いに自らの生活に直結することでないために後回しにされることは致し方ないことです。大方は「誰かが」「そのうちに」「なんとかなるだろう」と思うかどうかは別として、結果はほとんどの会員は動いていません。そのために誰かが呼びかけ役を務めなければなりません。

(1) 会員増強について

推薦されて入会できたロータリアン自らも、せめて最低5年に1人は新会員を推薦する目標を立て、実現に努力しましょう。

(2) 会員維持について

好き、嫌いなく、クラブ会員、全員が家族と心得、努力しましょう。努努（ゆめゆめ）、派閥をつくってはなりません。居場所は皆のものです。

(3) 現クラブ会長、幹事、増強委員長へ

飯村ガバナーがこれまで各クラブ純増1名以上を熱く提唱されてこられました。いよいよ残り時間も少なくなってまいりました。純増のためには増強と同様に維持が重要なことは言うまでもありません。笊（ざる）に水を汲むようなことをしていてはなりません。年度末には会員減少が心配されます。そのことを防止するため、各クラブ現会長、幹事、増強委員長様には会員維持をぜひとも厳守され、その成果を次年度会長に引き継いでくださるよう切にお願い申しあげます。

未来の夢はロータリアンの夢

第2550地区次期ロータリー財団委員会委員長　藤原　郁三

未来の夢計画はロータリー財団にとって最大の改革です。これまでの100年を総括し、次の100年にそなえようというものです。

ところで、私はGSEとの関わりが深く、私にとっては財団イコールロータリーです。ですから、財団のこのような大きな節目に、はからずも財団委員長を仰せつかったことに何かの縁を感じます。力不足だとは思いつつ、そう言い聞かせてお引き受けしました。

はじめは雲をつかむような「未来の夢」でしたが、次第に全貌がつかめるようになりますと、これはどうしても必要な改革なのだと思い始めました。また、あまりにも膨大な改革内容ですので、とても難しいと思っていましたが、逆に今までよりも簡素化されているように思いました。これは手続きの簡素化ではなく、内容の簡素化と言えましょう。

これまでは補助金の使い道が広範囲で、量の割には焦点がぼけてしまっていました。それをより効果の上がるものに絞っていこうというもので、世界の中で、ロータリーの存在意義を高めることがねらいです。もう1つの大きなビジョンは、ロータリー財団を、ロータリアン1人ひとりにとって、より身近な存在にするための改革でもあるということです。

もともとは、皆さんの寄付金を補助金という形で還元するのが財団の役割です。未来の夢では資金的にも80％に還元率を高めることで、そのことを裏付けています。また、地区により多くの権限を移譲することで自主性を高めました。あくまで、各クラブが主役なのです。

いずれにせよ、ロータリー財団のテーマは、一貫して「世界で良いことをしよう」で、単純明快です。その原点に立ち返ったのが「未来の夢計画」と言えるかもしれません。

Intercity Meeting Report IM開催の報告

第7グループ　IM報告

［開　催］2014年3月16日

第7グループガバナー補佐　　小野　吉正　（今市きぬRC）

鬼怒川温泉パークホテルにて３月16日、ＩＭを開催いたしました。７クラブ会員223人のうち95人の参加でしたので、43％の出席率でした。IMのメインであります活動報告（クラブの独自の取り組み、継続事業など）は、どのクラブも熱が入り、持ち時間をかなりオーバーしてしまい、SAAをひやりとさせた一幕もありました。また、記念講演では森玄房パストガバナーに「ロータリーについて」の演題でお話しをいただきました。

座右の銘としている「忠恕」（相手を思いやる心）、そして「陰徳有れば必ず陽報有り」（人知れず善行を積んだ人には必ずよい報いが現れる）、最後に「桃李成蹊」（立派な人物は自ら求めなくても自然に人

が集まってくる）、これらはまさしく森玄房様ご自身の生き方であり、ロータリーは職業奉仕が基本であるというロータリアンとしての本質を理解できたことは言うまでもありません。

懇親会はアトラクションの龍王太鼓で幕を開け、閉会まで誰一人として席を立たなかったことが、今回ホストクラブとしてのおもてなしができたことを物語っていたのではと自負しております。

第2グループ　IM報告

［開　催］2014年3月26日

第2グループガバナー補佐　　仙波　清之　（高根沢RC）

寒さもいつしか過ぎ去り、春爛漫。桜の開花を間近にひかえた３月26日(水)、第２グループインターシティミーティングは、高根沢町の東雲ゴルフクラブにおいて開かれました。

飯村ガバナー様、第５グループ田村ガバナー補佐様、川名地区幹事様のご臨席を賜りました。また、講師に高根沢町長加藤公博氏をお迎えし、「明日を担う人づくり」のご講演をいただき、さらに、第２グループのIMテーマ「飛躍」を目指し、クラブ運営と目標、会員増強の現況と目標、地域奉仕活動の現況等の各クラブ会長によるクラブ報告が行われました。各クラブの現況報告資料を会員全員に配布して情報を共有。地区目標の達成とクラブの飛

躍発展を目指し、インターシティミーティングを行いました。

懇親会のアトラクションでは「アンサンブル文」の16人のバンド編成による演奏が奏でられるなか、各クラブ会員の親睦と交流が図られ、意義あるIMとなりました。飯村ガバナー、第２グループ各クラブ会員のご協力に対し、心より感謝と御礼を申しあげ、第２グループインターシティミーティング開催の報告といたします。

インターアクト・クラブ海外研修

第2550地区インターアクト委員会委員長
熊本　勇治（宇都宮ロータリークラブ）

3月23日～26日の4日間、インターアクト・クラブ海外研修をRID3470のご支援により実施しました。31名のインターアクターと9名の顧問教諭、そして6名のロータリアンの計46名の訪問団で、台北の視察・台南市および嘉義市の3校と交流を実施しました。

【23日（1日目）】各集合場所より宇都宮に集合。一路成田空港に向かいます。朝早くの出発に多くの生徒が眠い眼をこすりながら不慣れな出国の手続き等を行い飛行機へ。約4時間で台北・桃園国際空港に到着し、早速台北市内を視察しました。故宮博物院・中烈祠を見学後、ホテルに到着。夜はRotexと台湾料理に舌鼓をうち、士林夜市を案内していただきました。

【24日（2日目）】総統府周りの視察となっていましたが、学生デモが続いており危機管理の問題から視察をカット。急遽龍山寺にて台湾おみくじを体験し、お土産等を購入後、飲茶を食して台湾新幹線にて嘉義市へ向かいました。嘉義駅にてRID3470の方に歓迎を受け、国立東石高中に訪問。東石インターアクト・クラブから活動報告や学校案内をいただき、交流を深めました。その後、台南に移動して夜はRID3470DG.Mydaysより歓迎会にお招きいただきました。

【25日（3日目）】台南市内3校と交流。午前中は南科実験中学インターアクト・クラブとの交流で、学校見学・交流討論。昼食は南科RC会長のご招待にて台南風ランチを堪能しました。午後は台南永仁高中に訪問。台湾の獅子舞による歓迎をいただき、中間試験の合間をぬっての交流となりました。夜はRID2550より答礼の宴を開催し、羽石パストガバナーに講演をいただきながら、RID3470ガバナー他地区の皆様をご招待させていただきました。

【26日（4日目）】台南駅より台湾新幹線で桃園駅に向かい、桃園国際空港より日本へ。成田空港で解散式を行い、別れを惜しむ気持ちを押さえて帰宅の途につきました。

4日間という限られた日程での海外研修でしたが、インターアクターが変わっていく姿、国際社会に目を向ける姿を拝見し、とても意義のあるプログラムだと自負しております。RID3470DG.Mydaysをはじめ皆様には大変お世話になったこと、RID2550インターアクトとRID3470インターアクトが相互交流できることを祈念し、今後も国際交流の礎を担って参ります。

アジア学院と米山記念奨学生

学校法人アジア学院

副理事長・アジア学院法人財務室室長
遠藤　抱一

2014年の入学式

アジア学院が県北の西那須野町（現那須塩原市）に誕生したのは、1973（昭和48）年のことでした。以来地元栃木県の皆様を含め多くの方々に支えられて、昨年創立40周年を祝うことができました。この間、毎年15～6カ国・地域から来日する約30名の農村開発を志す指導者を養成し続け、昨年までに1081名の卒業生を世界中54の途上国・地域の農村に送り出すことができました。

この間、ロータリー米山記念奨学会からは、87年のSYクラスから現在の地区奨励奨学金に至るまで、実に202名の学生に総額2億4128万円のご援助をいただいたのでした。日本人学生を除いた留学生の21%強、5人に1人の学生が、米山奨学会のご支援の下に9カ月～ 1年の農村開発指導者研修を積むことができました。

お世話いただいた世話クラブは2550地区50クラブ中、宇都宮から県北にかけての第1から第3グループの全21クラブでした。アジア学院に学ぶ学生は、途上国のそのまた僻地農村で厳しい生活を送る人々が飢えることなく、より人間らしい生活を営めるよう草の根の農村開発を志すNGOの指導員たちです。彼らこそ農村開発の十分な、また新しい知識、経験と技術を身に付ける必要があるのですが、勤務先のNGOには、その教育研修を受けさせる財政的な余裕はほとんどないのが実情です。

学院での研修は有機農業を主体に、畜産等の実習を通して指導者を養成し、1年分の教科を長期の休暇を取ることなく 1 収穫時間である9カ月間で修了させます。帰国後はインターネットはおろか、電気や水道もない僻地に戻る学生が多いことから、お世話になった皆様に連絡を取ることもままならない状況にありますが、彼らの活動に、奉仕の理念と世界平和の構築を目指すロータリークラブに支えられたという事実は大きな自信と誇りになっていることは間違いありません。

今日までこの人々の研修を財政面から支え続けてくださったのが米山奨学会でした。私たちにとって、この事業をこれまで継続実現させてくださった最大の心強いパートナーでしたし、今後も共にこの栃木県から国や、人種や、文化の違いを超え、農村に暮らす人々を思い、共に生きる道を探し求めて行きたいと願っております。

2014年の奨学生Collins（カメルーン）

2014年の奨学生Tulini (スリランカ)

2013年の奨学生2名（左から2人）

中学生に対するロータリー賞の贈呈

烏山ロータリークラブ

ロータリー賞の授与式

当クラブでは、1993（平成5）年から、中学生にロータリー賞を贈っています。

現在、那須烏山市内の３中学校の卒業生の男女各１名を対象にしています。表彰規定を作成し、①ロータリーの４つのテストに合致し、学校生活においてリーダーとして意欲的に取り組んだ生徒 ②学校、地域社会、家庭生活において奉仕的活動に意欲的に取り組んだ生徒の推薦を各学校長に依頼します。そして、クラブ内で検討し受賞者を決定します。

授与式には、会員が学校にうかがい、全校生徒の前で表彰状を渡し、メダルをかけてお祝いします。その時、ロータリーの奉仕の精神や活動の講話をします。さらに、受賞者は準会員の扱いで卒業後３年間にわたり、ロータリーの活動に招待し体験することになります。

現在は、８月の納涼オークション、12月のクリスマスオークションに兄弟、保護者も参加して、ロータリーの活動が理解を得られる機会になっています。将来、彼らが地域のリーダーとなり、われわれと同じロータリアンになって一緒に活動できることを大いに期待しています。

新入会員紹介

いとう　まさろう
伊東　正郎
小山東RC
（有）齋藤製作所
専務取締役
平成25年7月31日入会

ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を！そして自らの人生を豊かなものへ。

きくち　あきひろ
菊地　章浩
鹿沼東RC
宇都宮証券（株）
鹿沼支店　支店長
平成26年1月18日入会

前任の支店長に負けないように、奉仕の実践に励みます。

けぶかわ　すすむ
毛部川　進
小山南RC
医療法人光風会
光南病院　顧問
平成26年2月1日入会

皆様と一緒に活動させていただきますので、ご指導よろしくお願い申しあげます。

ななうみ　あけみ
七海　朱美
真岡西RC
NPO法人SAKU・ら
理事長
平成26年2月1日入会

常日ごろの奉仕の精神をロータリアンとして行える喜びを感じ、歩んでまいります。

やまもと　ひさかず
山本　久一
小山東RC
（有）関東実行センター
代表取締役
平成26年2月20日入会

仕事を通してロータリーを実践し、人々の役に立つ人生でありたいと思います。

ためがい　ひさお
田米開 久男
足利西RC
（株）タメガイ
代表取締役
平成26年3月1日入会

出会いを大切に地域社会に貢献できるようがんばります。ご指導をよろしくお願いします。

まつもと　あつこ
松本　淳子
小山中央RC
松本茶華道教室
代表
平成26年3月3日入会

皆様のご指導をよろしくお願い申しあげます。

ふなだ　はじめ
船田　元
宇都宮東RC
作新学院長
平成26年3月4日入会

ロータリアンとしては２代目になります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

ひらつか　けんじ
平塚　健二
足利東RC
（株）平塚解体工業
代表取締役
平成26年3月4日入会

異業種の方々と交流して、自分を高めていきたいと思います。

ふきつか　まさと
冨貴塚 眞人
宇都宮東RC
エフレント
代表
平成26年3月11日入会

ロータリーの精神のもと活動していきます。ご指導、ご鞭撻をお願い申しあげます。

うがじん　ひろあき
宇賀神 弘明
宇都宮陽北RC
（株）三峰
代表取締役
平成26年4月1日入会

諸先輩方のお仲間にさせていただきましたことに誇りを持ち、日々過ごしていきます。

とよだ　てつじ
豊田　哲司
黒磯RC
りんどう湖ロイヤルホテル
支配人
平成26年4月2日入会

皆様のご指導を賜り、自分自身も楽しみながら社会貢献できるよう努めます。

物故会員　謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申しあげます。

物故　享年68歳
平成26年1月23日
ふくだ　まさかず
福田 正和 様
鹿沼東RC

◆ **ロータリー歴**
12-13年　第2550地区 第7グループガバナー補佐
10-11年　第2550地区 ロータリー家族委員会委員長
08-09年　鹿沼東RC 会長
03-04年　鹿沼東RC 幹事

◆ **財団、米山記念奨学会などの寄付歴**
PHF 3回・ベネファクター
米山功労者　2回

物故　享年71歳
平成26年3月12日
やじま　てるみつ
谷島 彰光 様
しもつけRC

◆ **ロータリー歴**
98-00年　会報委員会委員長
00-01年　広報委員会委員長
01-02年　会報委員会委員長
02-03年　職業奉仕委員会委員長
04-06年　会報委員会委員長
06-12年　情報委員会委員長
12-13年　新世代奉仕委員会委員長

◆ **財団、米山記念奨学会などの寄付歴**
ポール・ハリス・フェロー
米山準功労者

第２５５０地区　３月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例会数	３月出席率		会員数							
			今月	平均	７月１日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第1グループ	大田原	4	82.62	85.54	31	34	0	0	4	1	3	2
	黒磯	4	83.30	83.63	39	40	0	0	2	1	1	2
	西那須野	3	84.51	88.67	37	38	0	0	1	0	1	0
	黒羽	4	92.31	94.15	13	13	0	0	0	0	0	0
	那須	3	81.25	85.30	10	10	0	0	1	1	0	2
	塩原	4	63.63	67.30	7	11	0	0	4	0	4	3
	大田原中央	4	52.00	66.67	26	25	0	0	0	1	-1	2
第2グループ	烏山	3	93.18	91.37	10	11	0	0	1	0	1	1
	氏家	4	95.29	83.44	25	26	0	0	1	0	1	0
	矢板	3	73.35	71.80	18	20	0	0	2	0	2	4
	馬頭小川	4	85.00	87.19	20	20	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	92.50	83.89	16	16	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	74.70	76.27	87	97	0	2	14	4	10	0
	宇都宮西	4	82.13	82.55	72	72	2	1	2	2	0	0
	宇都宮北	4	69.08	77.48	45	46	0	2	4	3	1	0
	宇都宮90	3	87.52	89.43	40	41	0	0	1	0	1	3
	宇都宮陽北	3	83.33	81.19	34	35	0	0	1	0	1	3
第3グループB	宇都宮東	3	93.93	94.83	98	103	2	0	8	3	5	0
	宇都宮南	4	75.39	84.50	43	46	0	0	4	1	3	0
	宇都宮陽東	4	72.55	79.89	42	41	0	0	1	2	-1	0
	宇都宮陽南	4	78.30	82.54	16	15	0	0	0	1	-1	2
第4グループ	真岡	4	87.70	84.86	54	53	0	0	1	2	-1	0
	益子	4	84.60	87.53	25	29	0	0	4	0	4	0
	真岡西	3	91.22	92.78	35	37	0	0	2	0	2	6
	しもつけ	3	97.56	94.38	30	32	2	1	3	1	2	7

分区	クラブ名	例会数	３月出席率		会員数							
			今月	平均	７月１日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第5グループ	小山	4	95.50	95.30	33	33	0	1	4	4	0	0
	小山南	4	94.40	95.78	20	21	0	0	3	2	1	4
	小山東	4	86.00	87.45	29	30	0	0	1	0	1	0
	小山北	4	86.80	80.86	22	21	0	0	0	1	-1	0
	小山中央	3	77.60	75.74	21	25	2	0	4	0	4	2
第6グループ	栃木	4	80.80	82.78	36	36	0	1	7	7	0	1
	栃木西	3	80.47	85.70	32	32	0	0	1	1	0	0
	壬生	4	77.94	80.98	16	17	0	0	1	0	1	1
	栃木南	4	94.25	89.68	30	31	0	0	3	2	1	6
第7グループ	日光	4	83.33	81.00	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	4	73.48	81.63	60	61	0	0	1	0	1	1
	今市	4	87.19	88.08	38	41	0	0	4	1	3	0
	鹿沼東	4	87.90	91.70	41	39	0	0	1	3	-2	3
	粟野西方	4	66.60	83.31	11	10	0	0	0	1	-1	1
	鹿沼中央	3	89.77	85.30	21	22	0	0	1	0	1	1
	今市きぬ	3	94.64	95.27	26	28	0	0	2	0	2	1
第8グループ	足利	4	79.54	69.12	30	24	0	0	2	8	-6	0
	足利東	3	77.80	72.72	53	55	1	0	3	1	2	8
	足利西	4	66.66	76.09	16	17	1	0	1	0	1	0
	足利わたらせ	4	96.90	98.17	31	32	0	0	1	0	1	0
第9グループ	佐野	3	82.13	88.97	65	69	0	0	4	0	4	0
	葛生	3	83.60	90.28	31	32	0	0	3	2	1	0
	田沼	4	90.51	89.70	39	39	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	81.82	86.19	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	3	89.30	83.50	9	8	0	0	0	1	-1	0
	５０ＲＣ		83.24	84.65	1627	1678	10	8	108	57	51	71

文庫通信 319号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

地区大会記念講演他より

［申込先：ロータリー文庫］

- 「戦国を生き抜いた知恵」……細川護熙／2013／7p（D.2650地区大会記念誌）
- 「はやぶさプロジェクトの成果・教訓」……川口淳一郎／2013／4p（D.2820地区大会記録）
- 「日本人の持つべき国家観について」……渡部昇一／2013／11p（D.2520地区大会記録誌）
- 「世界の人々のために」……緒方貞子／2013／5p（第11回日韓親善会議報告書）
- 「これからの両国のきずな」……山東昭子／2013／5p（第11回日韓親善会議報告書）
- 「軍艦『筑波』ー偉大なる航海（上）（下）」……岡村 健／2013／23p（福岡南RC月報）
- 「『がんばらない』けど『あきらめない』」……鎌田 實／（2013）／1p（D.2840地区大会報告書）
- 「これからの生き方」……山田法胤／2013／2p（D.2700地区大会の記録）
- 「人が動き街が動く～私のリーダーシップ論」……セーラ・マリ・カミングス／（2013）／21p（D.2800地区大会記念誌）
- 「平和と命」……深川純一／2013／20p（第35回青少年指導者育成セミナー報告書）
- 「掃除実践60年の『人生と経営の哲学』」……鍵山秀三郎／2014／10p（D.2710地区大会特集号）

［上記申込先：ロータリー文庫］

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル３階
TEL 03-3433-6456
FAX 03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前 10 時～午後 5 時
休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの友 4月号への第2550地区からの掲載記事

田村嘉應 友地区代表委員

（敬称略）

◆ **ロータリーアットワーク「地球環境保全を考え火力発電所を見学」**
足利わたらせRC　栃木秀麿 記
川崎火力発電所を見学、排熱を回収してダブル発電をしている省エネに感動。

◆ **ROTARY掲示板　足利RCパストガバナー深沢豊吉氏逝去。**謹んでお悔やみ申し上げます。

◆ **ROTARY掲示板　ローターアクトクラブ終結**　鹿沼RCホスト2013.12.5.承認。

今月も第2550地区からの掲載は低調でした。「ロータリーの友」にもっと親しんでくださることを期待しています。友4月号41ページに投稿の詳細が記載してあります。

この欄に第2550地区からの掲載記事を毎回ご紹介しています。4月号の掲載は左記3件でした。この次はあなたのクラブの記事です。

ロータリーの友へのご投稿・お問い合わせは下記へ。どうぞ積極的な投稿をお待ちしています。

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル４階　一般社団法人ロータリーの友事務所
TEL 03-3436-6651　FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

シリーズ ロータリーの実践 Vol. 7

日光ロータリークラブの清掃活動

日光ロータリークラブ会長　三ツ山　一明

小学生が参加して清掃活動

当クラブは、青少年奉仕委員会の事業として、小学生と一緒に清掃活動を行っています。

本年度は、小学3年生～6年生25名が参加して、昨年7月22日（月）に実施しました。今回で7回目を迎え、青少年奉仕委員会の一事業というより、当クラブのメイン事業になっています。神橋を中心に半径800メートルの国道119号、120号、山内地域（二社一寺境内）の市道および神橋付近の清掃を行う事業です。作業時期は、小学生が参加しやすい夏休みの朝に実施しています。

夏休みに入ると、小学生は、朝6時30分から各自治会でのラジオ体操に参加しますので、その後7時から清掃作業を開始します。各出発地（4カ所）に会員、児童が集合し、神橋を目指して、道路の清掃作業を行います。神橋境内に集合後、全員で境内の清掃をします。その後、日光二荒山神社神官のお祓いを受け、神橋に登橋し、男体山を遥拝します。神官からお祓いを受けることや、神橋から男体山を遥拝する事は、神や仏そして自然を敬う心が培われると思います。

その後、日光金谷ホテルにて、参加者全員で朝食会を行います。食事の際、ホテルの給仕長からテーブルマナーの講習をしていただきます。伝統あるホテルでの朝食は、児童にとって、よい経験になると思います。事業計画を事前に日光警察署に伝え、児童の安全のため、道路のパトロールを実施していただいています。日光警察署長、署員2名計3名も作業に参加し、朝食会の席では、署長から夏休み中の交通安全、生活安全についての卓話をしていただきます。

この事業は単に道路清掃だけではなく、児童の健全育成のためのいろいろなプログラムを盛り込んでいます。手前みそになりますが、青少年奉仕活動として最適の事業と考えています。

もう1つの清掃活動は、栃木放送、日光市が主催する「CRTクリーン日光キャンペーン」の協力団体として、清掃活動に参加しています。これは、戦場ヶ原を中心とした、奥日光の国道や、遊歩道の清掃活動で、昨年7月27日（土）に行いました。当クラブは戦場ヶ原から竜頭の滝までの遊歩道を担当し、初夏の高原の風を受けながら、いい汗をかきました。

神橋から男体山を遥拝

日光金谷ホテルで朝食会

クリーン日光キャンペーンに参加して清掃

シリーズ ロータリーの実践 Vol.8

フィリピン、ベイエリアRCとの国際奉仕

宇都宮90ロータリークラブ会長　小林　恒夫

4月2日（水）から5日（土）にかけまして、フィリピン、カガヤンデオロ市に、飯村愼一ガバナー、設楽国際奉仕委員長ご夫妻、鈴木義忠会員、宇都宮西RCのパスト会長の岡川光佑様、そして作新学院インターアクトの小野口直矢君、長島侑起君、猪瀬敦也君の総勢9名で行ってきました。現地は気温35度と高かったのですが、空気は乾燥していてとても快適でした。

現地では、昨年6月から進めて来た羊貸与プロジェクトの現況視察、現地の農民へのベイエリアRC会員による教育風景や農家に訪問して羊の状態を見学しました。農家の方がベイエリアRC会員の獣医の先生からまじめに指導を受けている姿が印象的でした。数匹の羊が子どもをみごもっているそうです。

その後バルラング高校に行って、トイレおよび給水設備の状況を見てきました。高校では、校長先生のお話をお聞きして、多くの生徒や関係者のお役に立っていることがよく分かりました。このプロジェクトは宇都宮南RCさんにご協力いただいて完成したものです。

帰国の日には早起きをしてベイエリアRC主催の「ランフォーピース」と言う白内障の患者さんを救うための寄付を目的としたマラソン大会に参加してきました。このプロジェクトには、宇都宮90RCから500ドル寄付をさせていただきました。

今回の視察見学で感じましたことは、今まで行ってきたベイエリアRCとのさまざまな国際奉仕活動は、着実にカガヤンデオロ市民の皆様の生活のお役に立っているという実感です。ベイエリアRCの皆様とそのご家族の私たちに対する大歓迎が、私たちの活動が大変お役に立っている証であると確信いたしました。

ベイエリアRCの皆様、過去におきましてご協力いただきました宇都宮西RCの皆様および宇都宮南RCの皆様、スマイルなどを通して国際奉仕を行って下さっている90RCのメンバー、そして今回一緒に行って下さったメンバーに心より感謝申しあげます。

今回初めて国際奉仕活動の現場を見ることができて奉仕の喜びを体験できたことは、今までRCの活動を親睦中心に考えてきました私にとりまして、大変有意義で価値があるものでした。ありがとうございました。

羊貸与プロジェクトの羊たち

国際ロータリー第 2550 地区　ガバナー事務所

〒320-0826　宇都宮市西原町 142　宇都宮グランドホテル内　1 階

TEL 028-651-2550　FAX 028-651-2551

E-mail　m2550@agate.plala.or.jp

※各ロータリークラブでおしらせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。